

【チェコ本と出逢って知ったハリネズミ 三日がかりでやっと救出】

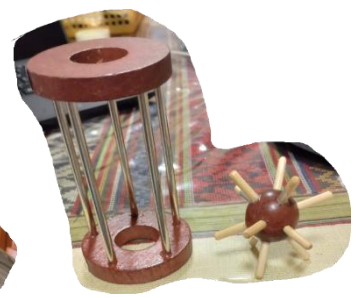
つい最近知ったタバネルブックス@石川台で 400 円で購入したチェコの小さな絵本を読み終えた時、書棚にある「の」(著者/Junaida)とページ繋がりが同じだ、と閃いた。

小生の PC でしょっちゅう呼びかけてくる AI (Copilot) に両者の相関関係を調べてもらった。チェコの本が 3 年ほど早く出版されてるけれど、似たような想像力が著者にあるということでしょう、となつて模倣ではないとの回答だった。

そこで似たような本について教えてもらうと、面白そうなパズルが掲載されている本が出てきた。パズルの名前は「ケージの中のハリネズミ」だ。その写真を見て、手持ちのコレクションに似たようなパズルがあった気がして探してみると、案の定ありました。

早速取り出して、ケージに入っているハリネズミ君の救出作戦に着手した。チェコの絵本を買ったタバネルブックスに出向いて、悪戦苦闘してますと途中報告。チェコのパズルにチョコ、チョコ取り組み 3 日ほどかけてようやく救出完了で、気分爽快、万歳三唱でした。

(パズルの解説本に解法が掲載されていたが「それほど難しくない。頭を使うというよりじっくりあせらずやれば救出できるでしょう」とあって、ガクツときた。まあ、いいか)



チェコパズルあせらずじっくりチョコチョコと やれば見つかる解決法が
AI (エーアイ) と喋れば意外な出会いあり 出会いあるから出 AI (アイ) なのかも

【認知症予防につかうベル3つ たベルとしゃベルそして調ベル】

毒蝮三太夫さんが「徹子の部屋」で披露した「認知症予防に3つのベルを大切にしよう」という話が面白かった。ネット検索すると超高齢なシニアを訪問してワイワイガヤガヤとしゃべるラジオ番組で、元気の秘訣を訊いていているときに思い浮かんだらしい。

数多くの賛同者が「3つのベル」とネット上にアップしている。駄洒落トークの小道具にうってつけなので、実際に安いベル3つを調達して披露しようと考えた。早速近所の DAISO に行ったのだがリンリンとならず洒落たベルは無い。渋谷に出た時に、ハンズや CANDO、大きい DAISO (大 DAISO か?) も覗いたが見つからない。ドン・キホーテにあったのは商店街のくじ引きで当たりを知らせるどでかいもの。1,680 円とバカ高いのでパス。何とか手に入れて披露しようと電車で二駅先にある小さな 100 円ショップ meets. ミーツを調ベル事にした。なんと、なんと金銀銅色のベルがあり、ミーツで3つ見つけた、と叫ぶ。

という次第で在庫9コを買い占めて、シニア向けのボランティアに出向くたびに披露して差し上げてる。その後、再びミーツに出向くと再入荷分の在庫7コがあり、それも買い占めた次第である。

金(たベル)、銀(しゃベル)、銅(調ベル)の3つのベルを披露する旅(トラベル)は、しばらく続きそうな気配である。小さいので楽に運ベルのも嬉しい限りである。



100 均をあちこち回るベル探し 散歩代わりの健康法よ
まずたベルしゃベルの前にベル鳴らし 話のネタを調ベルが良し